

— 静かな夜と平和な空を返せ —

発行日：2025年9月8日

発行者：福本道夫

横田訴訟原告団 NEWS 号外 25-03

連絡先：〒196-0003 東京都昭島市松原町4-10-24-100

E-mail：yokota9th@yahoo.co.jp

Web サイト <http://yokota-nakusukai.sakura.ne.jp/>

発行：横田基地公害訴訟原告団

横田基地公害訴訟第9回弁論

本日の行動予定

- ① 13時15分：事前集会
東京地裁立川支部前
 - ② 13時40分：地裁建物に入場（1階で荷物検査があります。）～エレベーターに乗って4階へ
 - ③ 13時50分：4階404号法廷に入廷
携帯電話の電源は切るかマナーモードにしてください。
 - ④ 14時00分：弁論（20分程度？）
 - ⑤ 退廷後～報告集会（裁判所前）～解散
- ※裁判所から事前に渡された傍聴券約20枚を配布しますが、足りない場合でも法廷には入れますのでご安心ください。

弁論内容は...

弁護団の吉田先生にお書きいただきました。

— PFASの被害を主張します —

今回の期日では、横田基地から流出した有機フッ素化合物（PFAS）汚染問題による原告らの精神的被害を主張いたします。

1 PFASとは

PFAS（通称「ピーファス」）とは、主に炭素とフッ素からなる化学物質であり、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物のことをいいます。PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸、通称「ピーフォス」）及びPFOA（ペルフルオロオクタン、通称「ピーフォア」）はPFASの一種であり、日常的にも様々な用途で使用されています。具体的には、PFOSは、半導体用反射防止剤・レジスト、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOAは、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに使用されています。

PFOS、PFOAは、いずれも難分解性（自然環境

中で分解されにくい）、高蓄積性（生物の体内や環境中に蓄積されやすい）、長距離移動性（大気や水を介して広範囲に拡散）の性質を有していることから、「永遠の化学物質」とも呼ばれています。

2 人体への影響

IRAC（国際がん研究機関）による発がん性分類において、PFOSは「発がんの可能性あり」、PFOAは「ヒトに対して発がん性あり」と評価されているほか、人体への影響としては、コレステロール値の上昇、胎児・小児の低出生体重や発達リスク、ワクチン効果の低下や免疫機能への影響等との関連が報告されています。また、近年の研究では、ヒト臍帯血や母乳からもPFOSが検出されており、胎児や乳児に対する生体影響が懸念されています。

3 世界の規制状況

日本も締結するストックホルム条約においては、

